

JISA × 明治大学 コラボ講義 開催報告

情報サービス産業協会 広報革新プロジェクト



JISA 広報革新プロジェクトでは、IT 業界の「働く」について、より広く大学生に知ってもらうことを目的とし、約二カ月間の JISA × 明治大学のコラボ講義を明治大学経営学部中西晶ゼミナールと企画した。明治大学では 2020 年前期の授業は全てオンラインでの開催となっていたため、全 8 回全てオンラインにて授業を行った。以下実施授業の概要を掲載する。

開催概要

期 間：令和 2 年 6 月 2 日（火）から 7 月 21 日（火） 全 8 回

参加者：中西ゼミナール生 15 名（大学 3 年生）

内 容：IT 業界の「働く」についてより広く知るためのインプット講義
アウトプットのためのディスカッション、プレゼンテーション

体 制：全授業 Zoom にて開催

プログラム構成

回数	日時（予定）	フェーズ	概 要（案）
第1回	6月2日（火） 15:20～17:00	Section1 INPUT	業界概要の講義と質疑
第2回	6月9日（火） 15:20～17:00		業界で働く社員による仕事紹介、インタビュー形式の意見交換
第3回	6月16日（火） 15:20～17:00	Section2 広報分析	業界のWebメディア「irodoru」について分析・課題整理（個人発表）
第4回	6月23日（火） 15:20～17:00		各グループで「IT業界の広報訴求案」について発表 20分×4グループ
第5回	6月30日（火） 15:20～17:00	Section3 事業提案	「コロナウイルスによって多大な影響を受けた業界の課題を解決するよ うなITサービス」をグループで考察（Zoomで小グループを作成）
第6回	7月7日（火） 15:20～17:00		
第7回	7月14日（火） 15:20～17:00		ビジネスコンテスト形式でグループごとに発表 20分×4グループ （できれば4年生にも審査員として参加）優秀G発表
第8回	7月21日（火） 15:20～17:00		発表のフィードバック・優秀グループへの賞品授与 総括

Section1 INPUT (第1～2回)

第1～2回はIT業界についての情報をインプットするセクションとして開幕した。まず第1回は「SIerとは？」についてのイントロダクション講義を実施。

(第1回講義資料)

第2回では「働く」ことについてよりリアルで身近に感じてもらえるよう、JISA 会員企業で実際に働くゲスト講師（社会人メンター）による仕事紹介・インタビュー形式の意見交換等を実施した。ゲスト講師は以下の4名。それぞれの職種の説明や働く楽しさを語った。

【ゲスト講師4名】

Section2 広報分析 (第3～4回)

業界の広報分析を行う Section2 の第3回では、IT業界のWebメディア irodoruを「私が見たいサイトにするにはどうしたらよいか」について論じた一人5分程度のプレゼンテーションをゼミ生全員で行い、第4回は「IT業界の広報訴求案」についてグループ討議を行った。

【irodoru についてのゼミ生からの提案例】

ターゲットは **“すべての人”**

今回議題に挙がっているIT業界の仕事を伝えるサイト...「[irodoru](#)」

○目標
→ **“Beforeの私”** のような人。
IT業界を全く知らない人も見てもらうこと。

**＝興味イマイチ & 無知識の人を取り込めれば
興味ある人はもっと取り込める！！**

明治大学経済学部 T.H 君の提案
ターゲットを自分と同じ「IT 業界を全く知らない人」とし、自分が見たいと思うようなコンテンツを提案。



明治大学経済学部 J.H さんの提案
irodoru の画面を、いつも見ているお気に入りのニュースサイトを参考に大胆に変更することを提案。

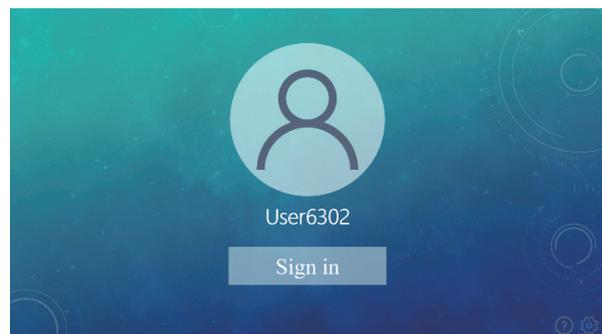
Section3 OUTPUT (第5～8回)

Section3 ではこれまで学んだことをアウトプットするセッションとして「コロナウイルスによって多大な影響を受けた業界の課題を解決するような IT サービス」について、グループでディスカッションし、ビジネスコンテスト形式で各グループが発表を行った。以下では各班の立案したサービスについて紹介する。

第1班 VR Chat

VR (仮想現実) を利用した新たなソーシャル・ネットワーキングサービス

在宅勤務・授業の増加により発生した ON/OFF の不明確・無力感・孤独・孤立感・憂うつ感を課題とし、VR (仮想現実) を利用し、アバターを通じてコミュニケーションをとる新たなソーシャル・ネットワーキングサービスを提案。二次元でのチャットコミュニケーションではなく、実物を見ているような対面感の再現を目指したサービス。実際のサービス画面をイメージした画像を作成し、プレゼンテーション中にデモンストレーションを行った。



第2班 Teacher's Platform

コロナに苦しむ教授たちを救いたい！

「講義を受ける自分たちがオンライン講義で様々な悩みがあるのだから、講義をする側の教授たちはもっと悩みがあるのでは？」という視点から着想を得た「Teacher's Platform」。大学の教員向けに慣れないオンライン授業を円滑に行う術を共有し改善を目指すサービス。既存の動画配信サービスと同様の講義評価システムやコメント機能を持たせ、大学のブランド力向上にも貢献する。



第3班 旅行 with コロナ

STAY HOME から予防と両立した観光へ！

メンバーが感じている「旅行はしたいが、公共交通機関を使うのは不安…旅行先が混んでいないか不安」から着想を得た観光業をサポートするシステム。既存の美容院やリラクゼーションサロンの予約アプリケーションのUIをモデルに交通、商業施設・観光地、飲食店、宿泊施設全ての混雑状況や、新型コロナウイルス対策を一括で把握でき、予約も出来るアプリケーションを立案。

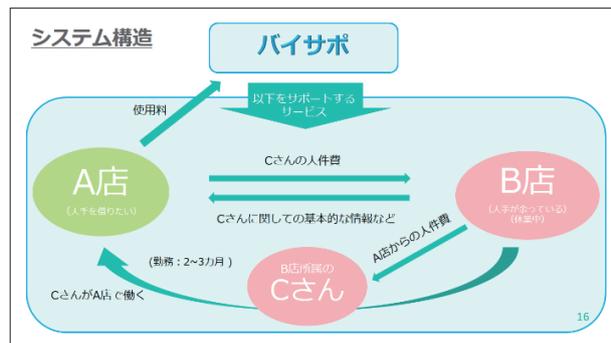
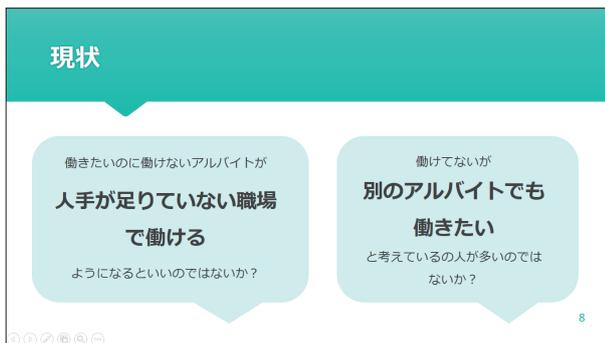
プロモーションビデオをプレゼンテーション開始直後に放映し、アプリケーションの必要性を説いた。



第4班 バイサポ

コロナ禍でアルバイトできなくなった人が別の職場で働くことをサポート！

新型コロナウイルスの影響を受けた身近なものとして、働けなくなったアルバイトを課題として捉え立案したサービス。すでにアルバイトとして働いていた従業員が、一時的に別の場所（家電量販店などコロナ禍によって人手不足が著しくなった職場）で働くことをサポートする。人手不足と人員余剰のギャップを埋めていくことを目指す。キャッシュフローやアフターコロナでの運用方法も検討した。

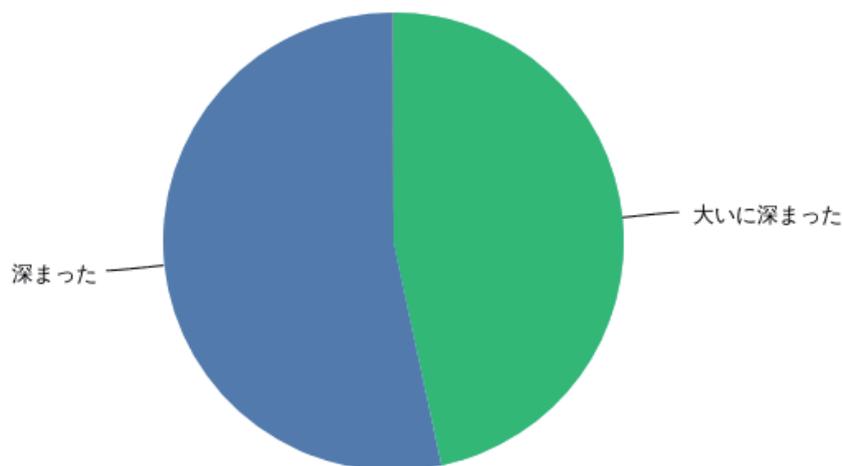


ビジネスコンテスト形式でのグループ発表のため、当初は中西ゼミの4年生およびJISAメンターの投票により最優秀班を一班選出する予定であったが、得票の多い同点の班が二つ出たため、第1班の「VR Chat」と第4班の「バイサポ」の二つを表彰対象とした。

授業評価アンケート結果

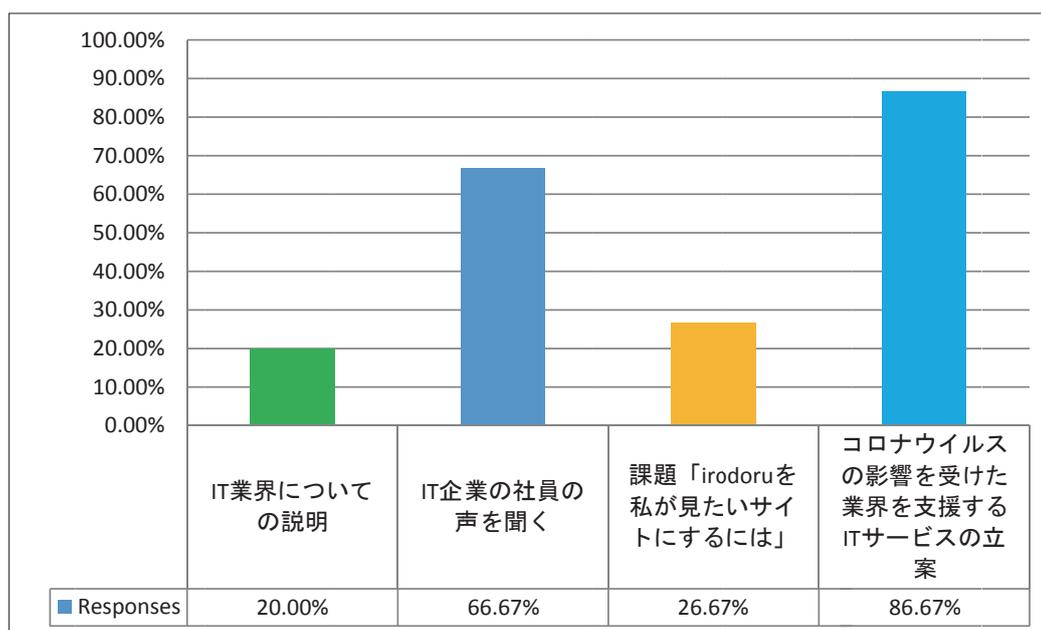
最後に全8回の講義の感想や意見について、ゼミ生15名に対して授業評価アンケートを実施した。

Q2: 今回のゼミでIT業界への理解は深まりましたか？ (n=15)



理解度はおおむね回答者全員が「深まった」と回答している。「大いに深まった理由」として「今まで自分の進路にIT業界という選択肢が全くなかったのがこの授業を通して大きく変化した。どの企業に行っても今やITの時代。自分も乗り遅れないようにしっかりついていきたいと思った。早速資格の受験に申し込みました！」「文系の自分とは関係ないと思っていた業界だったが、実際に働く人と話し、疑問を解消することができたことにより、これほどまでに身近で重要な職業だったということを知ることができたから」という声が寄せられた。

Q3: 印象に残ったアクティビティはどれですか？ 2つまでご回答ください。



授業全体の感想としては、IT 業界の概要の知識を得られたこと、社会人メンターとの交流、プレゼンテーションが良い経験となったというコメントが寄せられた。

以下は、実際の授業全体の感想コメントを抜粋したものである。

「実際に企業の方々からメンターとしてお話を聞いたことで様々なタイプの人がいるということが分かり、IT 企業で働くという事の理解が深まった。また、グループディスカッションの際にメンターも実際に話し合いに参加していただいたため直接コミュニケーションを取ることができ、良い経験になった」

「ほかの授業ではあまりグループプレゼンを行わないため、プレゼンテーションは良い経験となった。またフィードバックが丁寧だった」

逆に今後改善してほしい点としては、対面でも実施して欲しかった、グループディスカッションの時間が足りなかった、個別技術に関してもっと教えて欲しかった、といった声が寄せられた。

本コラボ講義は、好評を得て来年度も継続実施が決定した。また、2020 年秋に長崎大学での実施も予定している。

(参考) 【経営学部】中西晶ゼミナールが「JISA ×明治大学 コラボ講義 (オンライン)」を開講

<https://www.meiji.ac.jp/keiei/info/2020/6t5h7p000034bsp4.html>

【経営学部】中西晶ゼミナールと JISA (情報サービス産業協会) 共同プロジェクトの終了報告

<https://www.meiji.ac.jp/keiei/info/2020/6t5h7p000036kcjh.html>